

あの子ども
この子ども
みんなの子

前橋のPTA

発行所 前橋市PTA連合会
発行人 狩野 恭弘
編集者 六本木 千絵
責任者
https://www.sites.google.com/view/maebashipta
印刷所 上毎印刷工業株式会社

第45回 全国小・中学校PTA
広報紙コンクール表彰
優良PTA群馬県教育委員会表彰

未来を創るPTA活動
群馬大学共同教育学部附属中学校PTA



本校PTAは、本部役員、理事が6つの常任委員会(総務、進路対策、新聞、厚生施設、保健安全、教養)に所属し、活動を行っています。また、「附中サポータースタッフ」(保護者ボランティア)を創設し、時代に合わせた持続可能なPTA活動を目指して、積極的に改革に取り組んでいます。現在、卒業生の保護者を含め約90名の保護者が「附中サポータースタッフ」に登録し、体育大会や文化祭、公開研究会などで、動画の配信や会場準備受付など様々な場面で活動しています。また、ICTを取り入れ、資料のデータ化やPTA理事会・集会など各種会議をオンラインで開催しました。

総合的な学習の時間「未来創造科」の授業に、PTAや地域住民の方が参加し、学習のアドバイザーを務めています。例えば、生徒が探究しているテーマについての中間検討会に参加し、様々な立場から助言を行っています。探究している課題を解決するために、生徒からのインタビューや実践に協力し、生徒とともに課題の解決を目指しています。今後も時代に合わせて、学校・地域と連携をとりながら、PTA活動に取り組んでいきたいと思えます。



第45回 全国小・中学校PTA
広報紙コンクール表彰
佳作の受賞にあたり

前橋市立第五中学校PTA

本校の広報紙第108号が、県PTA広報紙コンクールで優秀賞をいただいたのみならず、全国コンクールで佳作として表彰されたことを誠に光栄に思います。これまで広報紙作成に携わっていただいた方々に感謝申し上げます。

本校の広報紙の特徴として、中学生になり、思春期・反抗期を迎えて家族・地域とのコミュニケーションが減少しがちな子供たちの感じていることや過ごし方についてアンケートをとつてまとめた記事があります。第108号ではインターネットとの関わりについて特集を組みました。コロナ禍を経て子供たちとインターネットとの関わり方が激変し、中学生の生活と切り離せないものとなりました。自分達の中学生時代にはなかった変化にとまどう保護者も多く、今回のアンケート結果が子供たちやインターネットへの向き合い方を考える一助になったという感想を多くいただきました。このような形でPTA広報紙が子供たちや家庭、地域に役立っていることを嬉しく思います。

来年度より本校は、生徒会にもPTA広報紙の作成に携わってもらい、新しい広報紙へと発展させる予定です。今回の受賞を励みとして、今後も誇りをもって皆様に読んでいただける広報紙を作成していきたいと思えます。



挨拶



市P連会長
狩野 恭弘

日頃より、前橋市PTA連合会の活動にご理解ご協力をいただきまして、心より感謝を申し上げます。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、多くの活動を計画どおりに行うことができました。また、各単位PTAでも、より精選した内容に見直された活動を再開されているかと思えます。コロナ禍が続いていたため子供たちへのサポートが不十分な状態でしたが、PTA活動の転機と捉えていただき、引き続き時代に合致した組織への改革を期待しております。

PTAは、子供たちをサポートする組織です。任意団体としてボランティア精神をもち、子供たちのために有意義な活動をしていただきたいと願います。

子供たちが自立に向かうためのサポートを行うため、引き続きご理解ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

市P連一年のあゆみ

「子供とともに育もう、こころの豊かさ たくましさ」

令和5年度 前橋市PTA連合会の活動

<>は市P連以外の主催による事業

月	日	主な事業	実施状況
4	13	家庭教育代表役員会 役員推薦委員会・第1回役員会	新旧の役員で開催
	10	広報研修会	各校広報担当57名参加
5	24	定期総会準備	感謝状の準備等
	26	定期総会	書面開催
	3	<県P連定期総会>	
	8	青色防犯パトロール実施者講習会	書面開催
6	15	第2回役員会	
	18	<中部教育事務所管内PTA指導者研修会>	参集とオンラインの同時開催
	27	第1回会長会議	
7	5	前橋市PTA研究大会	動画視聴会、動画配信
	8	社会を明るくするパレード	雨天中止
	18	第3回役員会	
8	24	第2回会長会議	
	25,26	<日P全国研究大会 広島大会>	
9			
10			
11			
	1	<関フロ研究大会 ちば大会>	
	18	<県P家庭教育研究集会>	
		<県P大会 渋川大会>	
1	11	第4回役員会 第1回役員推薦委員会	
	26	第3回会長会議	
		下旬 広報紙「前橋のPTA」(第78号)発行	
2	15	第5回役員会 第2回役員推薦委員会	
3	上旬	前橋市PTA活動実践事例集(34集)発行	
	16	<県P会長研修会>	

市P連役員として

昨年度、初めて市P連役員になり、もうすぐ2年が経とうとしています。市P連の活動を通して、同じ市P連役員の皆さんや学校職員の方々、教育委員会の皆さんなどの多くのお会いもありました。皆さんの考えの根底には「子供たちのため」という思いがあり、たくさんのの方々によって子供たちが見守られていることに改めて感謝いたします。

給食会議に初めて出席した時、たくさんの方々の子供たちの健康のため、限られた予算の中で献立を考えてくださっていることも知り、大変ありがたく思いました。

コロナ禍により時代は大きく変わり、PTA活動も変化してきていると思います。各単位PTAが、時代や状況に合わせた活動をさらにしやすくなるように、そして子供たちの明るい未来のために、私も市P連役員として、これからもできることを模索していきたいと思っています。

(文責/副会長 小畑)

市P連 今年度の取り組み

前橋市PTA連合会では、持続可能なPTA活動を目指し、子供たちをサポートする各単位PTAを支援するために活動しています。

今年度は、令和5年2月に実施したアンケート結果を踏まえ、市P連の活動の見直しを行ってきました。

コロナ禍で書面開催となっていた定期総会は、開催方法を検討し、参加者の負担軽減等を考慮して、来年度以降も書面での開催を継続することとなりました。

また、広報研修会は、今年度までは全ての単位PTAに参加を依頼し、実施してきましたが、来年度は参加を希望制にし、掲載記事の内容選定の方法等を学ぶ研修にするなど、開催方法や内容を見直し、実施する予定です。

学区別教育懇話会は、テーマ設定の方法を変更しました。昨年度までは、「前橋の子育て これだけは」の項目をもとにテーマ設定をしていましたが、今年度は各学区の実態に合わせ、話し合いたいテーマを会長会議で学区ごとに協議し、決定しました。各会場では、活発な意見交換が行われ、非常に有意義な事業であったとの声が聞かれました。

これからの活動の方向性を何度も検討しながら事業を進めてきた一年でした。子供たちのためのPTA活動であることを常に念頭に置いて、今年度の取り組みを振り返り、さらに充実したPTA活動となるように努めていきたいと考えています。

前橋市PTA研究大会 (7/5 動画視聴会、7/5～7/19 期間限定配信)

今年の研究大会は、昨年度実施して好評だった期間限定の動画配信に、総合福祉会館での動画視聴会兼意見交換会を加え、二つの参加方法を導入しました。意見交換会では、参加人数は少なかったものの、視聴後の感想や子育ての悩みについて参加者同士が意見交流し、異年齢の子供を持つ親たちにとって貴重な機会となりました。

大会テーマは「子供とともに育もう、こころの豊かさたくましさ」。講演では「大人の背中、子どもの未来」と題し、鎌田敏先生がストレス管理や子供との接し方に焦点を当てて話してくれました。アイスブレイクから始まり、「出来事はひとつ、解釈は無量大」という考えや小さな積み重ねの大切さを語り、コロナ禍でのストレスへの対処法や子供への良い関わり方を、アンガーマネジメント手法やコミュニケーションの大原則を交えて具体的に紹介してくれました。



動画視聴会兼意見交換会はアットホームな雰囲気があり、参加者には大変有意義な会となりました。運営役員としては、より具体的な情報提供や研究大会タイトルの工夫で、たくさんの保護者が興味を示す告知の方法を検討することが必要だと感じました。

(文責/家庭教育副委員長 星野)

前市P連家庭教育委員長	前市P連幹事	前市P連会長	顧問	会計監査	家庭教育的代表幹事	教職員代表幹事	幹事	副会長	会長																
阿久澤麻美 P	穴原大輔 P	石垣真紀 P	吉澤守和 P	六本木千絵 P	星野由美 P	松島常絵 P	内田孝枝 P	廣田香 P	関彩耶香 P	安藤尚 T	本間淳彦 T	荻野雅志 T	日向聡 T	徳永美恵子 T	武井暁子 T	町田鉄兵 P	福島俊明 P	林里美 P	池下道夫 P	荻原祥匡 T	小畑真紀 P	齋藤信吾 P	塩原大輔 P	狩野恭弘 P	
		大胡中		荒子小	桂萱中	清里小	第七中	原小	附属小	宮城中	木瀬中	桂萱中	総社小	山王小	桃川小	宮城中	総社小	白川小	城南小	若宮小	荒砥中	桂萱東小	山王小	東中	

令和5年度
市P連役員

前橋の子育て これだけは

前橋のどの家庭でも 子供たちに身に付けさせたい親として持っていたい心構え

平成17年度から市P連が家庭教育力の向上を目指して示している「前橋の子育て これだけは」。これは、前橋のどの家庭でも子供たちに身に付けさせたい親として持っていたい心構えです。これをもとに、各単位PTAは様々な活動に取り組んできました。

※各校の具体的な取組は、前橋市PTA連合会のホームページに実践事例集として掲載されています。
<https://www.sites.google.com/view/maebashi-pta>



子供たちにこれだけは

- 思いやりの心を持つ
- 人にめいわくをかけない
- うそをつかない
- あいさつをする
- やくそく・ルールを守る
- 自分のことは自分でする

親としてこれだけは

- 明るく愛情ある家庭をつくる
- 子供との対話を大切に
- 良いことは褒め、悪いことは叱る
- 子供の意思を尊重する
- 思いやりの心を教え示す
- 社会のルールを守り教える

学区別教育懇話会

令和5年度 学区別教育懇話会 内容一覧

学区・日時・場所・当番校	テーマと主な話題・内容
第1学区 11月20日(月) 東三ツ子(セーザ) 若宮小PTA	「ルールやマナーを守ってその場にふさわしい行動ができる子に育てる」 ・相手を思いやり、あいさつや気遣いができるようにするために、押し付けではなく、子供が納得できるようにすることが大切である。そのためには、繰り返し言葉で伝えるとともに、大人がよいお手本となる姿を見せることが必要である。 ・学校行事、学級活動、スポーツ等、実体験を通して、自分で考えさせ、振り返らせることを大切にしたい。 ・家庭の食卓での家族の会話の重要性を認識する必要があるだろう。
第2学区 10月19日(木) 南橋公民館 桃川小PTA	「子供の命をどう守るか」 ・危険回避する力をつけるには、想像力を育むことが必要であり、そのためには、子供たちに様々な経験をさせることが大切である。 ・自己肯定感を高めることで自分を信じる力がつき、ひきこもりがなくなるのではないだろうか。 ・危険から子供たちを守るには、大人自身が危険に対して高い課題意識をもつこと、そして、子供と積極的なコミュニケーションをとったり、家族で話し合っ家庭内のルールつくったりすること、家庭と学校との連携をより密にすることが大事である。
第3学区 10月20日(金) 上川淵公民館 山王小PTA	「子供たちのためにサポートできるPTA活動について」 ・役員をやることのおよさが伝わっておらず、負のイメージが大きい。 ・今までのPTA活動のままではPTAを維持していくことが難しくなりつつある。時代背景に合わせた適切な活動への見直しが必要である。 「災害から子供たちを守るための安全対策について」 ・親が災害時の対応を知識として身に付け、親子で知識を共有するとよい。 ・さまざまな災害に対し、自らの考えで判断し、正しい選択をしていくことが求められている。
第4学区 9月29日(金) 総社公民館 総社小PTA	「子供たちのための体験学習について」 ・子供たちの成長にとってリアルな体験が大切であり、体験から学んだ実感をもたせたい。学校やPTAが主体となり、体験の機会を積極的ににつくっていききたい。 「これからのPTA活動について」 ・会議の回数を減らすため、話し合う内容を整理している。オンライン会議なども活用し、会議に参加しやすくなるような工夫もしている。 ・時代に合っていない活動内容は、変えていかないといけない。
第5学区 11月21日(火) 総合福祉会館 桂重中PTA	「子供たちのためのPTA活動」 ・それぞれの学校が時代に合ったPTA活動になるように、ICTの活用をしたり、取り組み方を工夫したりしている。 ・PTAに対するネガティブなイメージを改善する必要がある。 ・子供たちのために重要な行事については、持続可能な方法を議論していきたい。 ・学校によって今までの経験や地域の特性に違いがあるが、地域のネットワークも大切にして、活動内容を工夫していけば、積極的に参加してくれる人がいるだろう。
第6学区 11月1日(水) 永明公民館 木瀬中PTA	「これからの時代を、子供たちが生き抜くためには」 ・不登校の増加は、環境や多様性といった社会の大きな変化が関係しているのではないかと。よって、包摂力のある、寛容性のある社会づくりが必要である。 ・サポートを求めやすい、サポートをしやすい社会の雰囲気をつくっていくことが必要である。 ・大人が子供に正解を用意せず、子供が自分で解決できるようにサポートすることが大切だろう。 ・「どうしたいか」「どうしたらよいか」を子供に考えさせることが大切だろう。 ・子供と時間を共有し、共感することで、コミュニケーション力の向上につなげたい。
第7学区 10月4日(水) 宮城公民館 宮城中PTA	「子供とのコミュニケーションをより良くするためにできること～真に必要な関わり合いとは～」 ・デジタル環境は、情報が多く、正誤の判別や取捨選択が難しい。親子の会話をする中で、デジタル機器を利用している時間や使い方などを把握していくとよい。 ・その子のありのまま(自分らしさ)を丸ごと認めて受け入れ、小さなことでも挑戦できたことやわずかも成長したことを一緒に喜ぶような関わり方をしていきたい。 ・人と人との直接的なつながりが薄くなる中で、リアルな体験を大切に、子供と共感できるイベントをつくっていくとよい。



各学校のPTA活動や家庭教育の充実・活性化、家庭と学校、行政との連携を深めることを目的として、PTA学区別教育懇話会を市内全7学区において開催しました。

「子供と共に育もう、こころの豊かさ たくましさ」をスローガンに、今年度は学区ごとにテーマを設定し、各校のPTA会長と校長先生、教育長や教育委員など市教委の方々が話し合いました。それぞれの懇話会では、子供たちの生きる力を育てるために、家庭では何をなすべきか、地域とどのように連携していくか、さらに子供たちのためのPTA活動として何をすべきなのか等について活発な話し合いが行われました。各当番校が中心となり、話し合いが深まるよう工夫され、充実した懇話会となりました。



それぞれの立場で意見を交流することで、考えが広がったり、深まったりすることを実感し、子供たちの成長のためには、家庭と学校、行政が連携していくことが重要であることを再認識する懇話会となりました。また、これからのPTA活動について考えるための良い機会となり、各学校のPTA活動に生かされることが期待されます。

会長会議 全体会・分科会

各校のPTA会長の出席により年3回開かれる会長会議では、全体会と学区別分科会が行われます。とくに全体会終了後に学区ごとに分かれて行われる分科会



では、各校のPTA活動の実態や取り組みについての情報交換(第1回会長会議)や学区別教育懇話会のテーマ決め(第2回会長会議)、総括等(第3回会長会議)を行っています。徐々に以前の活動が再開できる社会状況になってきた今年度は、これからのPTA活動について、自分の学校の課題を相談したり、他の学校の活動内容を知ったりすることができる貴重な機会であり、その後のPTA活動のネットワークが広がる市P連ならではの有意義な時間となりました。

学区別教育懇話会に参加して

毎年、前橋市PTA連合会が主催する学区別教育懇話会は、前橋市教育委員会、各校長、PTA会長が出席して、子供たちの未来のために今教育でやるべきことを意見交換するとともに貴重な会です。

私はPTA会長として第五学区の懇話会に参加してきました。今回のテーマは『子供たちのためのPTA活動』。活発な意見が飛び交う中で、この日々変化する時代の中を教育委員会として、学校として、PTAとして、出席していた全ての方がそれぞれの立場から子供たちの未来のために考え、試行錯誤して下さっているということを感じることができました。

(文責/副会長 齋藤)

わたしたちの

P T A

＝ 仲間通信(43) ＝



荒砥中学校

◆前橋市立荒砥中学校PTA
 荒砥中学校では、アフターコロナで行うPTA活動の在り方について協議・検討を行い、それぞれが計画した行事・活動を進めることができました。

学年部は東部共同調理場見学・給食試食会、成人教育部と共同でPTAセミナー、高校説明会を行いました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後の行事でしたが、間隔を広くとったりするなどの対策は継続しました。

また、体育大会やマラソン大会の行事に協力しました。観覧の制限をなくした結果、多くの保護者に足を運んでいただき、子供たちが活躍する姿を見ていただくことができました。

今年度の活動を振り返り、荒砥中学生のよさを高めることのできるPTA活動を推進していくとともに、組織・内容等について検討・見直し・改善を図り、有意義な活動を目指していきたいと思っております。



大室小学校

◆前橋市立大室小学校PTA
 大室小学校は、国指定史跡である大室古墳群・大室公園の近くにある豊かな歴史・自然環境に恵まれた学校です。

PTA活動については、コロナ禍を機に活動内容を見直し、会員・子供たちにとってより良い学校生活を送るための活動とは何かを模索しつつ取り組みを進めています。

今年度の取り組みでは、学校職員・PTA役員・地元自治会で危険箇所点検として、事故のリスクが高い通

学箇所の点検を行いました。その他、運動会・マラソン大会等の学校行事のお手伝い等の活動をしています。会員全体の取り組みとしては、春・秋の奉仕作業として、春はエアコンや高所の窓等の清掃、秋は運動会前の除草作業を行いました。

来年度は創立一五〇周年を迎えますが、今後も学校・家庭・地域の皆様と協力し、子供たちが充実した学校生活を送れるよう、活動に取り組んでいきたいと考えています。



桃瀬小学校

◆前橋市立桃瀬小学校PTA
 桃瀬小学校では、安心して学校生活を送れるよう教職員、保護者等が一体となってPTA活動を行っています。

今年度のPTA活動は、新型コロナウイルス感染症の5類移行から徐々に本来の活動を取り戻しつつあります。この状況は、全ての学校関係者にとって喜ばしいことであるとともに、コロナ禍以前では当たり前だった毎年の行事一つ一つを見直す機会でもあります。

桃瀬小学校PTAでは、行った行事活動に対して必ず振り返りを行い、毎年一つでもブラッシュアップしたものを

今年度行った活動の一つに普通救命講習があります。受講者の方は受講の目的を理解して真剣に取り組んでいました。万が一のことを想定して、一人でも多くの方が心肺蘇生法やAEDの扱い方等の応急手当方法を知ってもらえるよう、活動を振り返りブラッシュアップをします。

今後の活動も引き続き、子供たちが毎日笑顔で学校生活を送れるよう大人たちも笑顔でPTA活動に取り組んでいきたいと考えています。



受賞 おめでとうございます (敬称略)

- ◆第45回全国小・中学校PTA広報紙コンクール 佳作 第五中学校PTA
- ◆優良PTA群馬県教育委員会表彰 群馬大学共同教育学部附属中学校PTA
- ◆第37回群馬県PTA広報紙コンクール(令和4年度発行) 優秀賞 天川小学校PTA 山王小学校PTA 第五中学校PTA 桂萱中学校PTA 群馬大学共同教育学部附属中学校PTA WEB版 群馬大学共同教育学部附属小学校PTA
- 優秀賞 荒子小学校PTA
- 佳作賞 桃瀬小学校PTA 原小学校PTA 時沢小学校PTA 富士見中学校PTA

編集後記

今年度も前橋市の子供たちのためにご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行から4年が経ちましたが、感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことにより、学校行事やPTA活動が以前のように行われるようになり、賑わいが戻りつつあると思います。

市P連でも、昨年度までは開催中止、または書面やオンラインでの開催になっていた活動も、今年度は実際に会場に集まり、各単位PTAの情報交換の場を設けられる機会が増えた一年でした。

令和6年度以降も、学校、家庭、地域が協力し、前橋の子供たちのために活動していただきたいと思います。

一年間ありがとうございました。

※次回の仲間通信(令和6年度)は芳賀小・二之宮小・大胡中です。